

ミュージカル作品を教材化する

—*Billy Elliot*の世界を中心に—

筑波大学附属駒場中・高等学校 英語科

須田 智之

ミュージカル作品を教材化する

—Billy Elliotの世界を中心に—

筑波大学附属駒場中・高等学校 英語科

須田 智之

要約

本稿は2017年度、70期中学2年生向けに実施したミュージカル *Billy Elliot* を題材にした英語授業の記録である。*Billy Elliot* は本校の中学2年生を対象としてCLILの授業が実施可能な教材となり得ると考え、映画とミュージカルの上映、Graded Reader版でのReading、内容理解についてのグループ学習と英語プレゼンテーション、学期末テストとしての英語Writingなどの活動を実施した。

キーワード：映画、英語の歌、ミュージカル、*Billy Elliot*、多読、CLIL、Reading、Writing、道徳の教科化、グループ学習、英語プレゼンテーション

1 はじめに

本稿は2017年度、70期中学2年生向けに実施した*Billy Elliot* を題材にした英語授業の記録である。*Billy Elliot* とはもともと2000年公開のイギリス映画（邦題『リトル・ダンサー』、日本で公開は2001年）である。その後、Lee Hallによる映画の脚本がイギリスの児童文学作家Melvin Burgessによってノベライズ化されるとともに、英語学習者向けのGraded Readerも2社（現行版はPearson社とScholastic社）より発売されている。さらに、映画に基づいてElton John作曲によるミュージカル*Billy Elliot The Musical*も製作され、2005年にはロンドンのウエストエンドで上演が開始された。2008年にはニューヨーク・ブロードウェイでも上演が開始され、2009年の第63回のトニー賞では作品賞その他10部門もの賞に輝くという快挙を成し遂げている。

筆者はこれまでも継続して、映画や英語の歌を中学・高校の英語教材として活用することに取り組んできた。特に最近では、感情表現に関する部分でミュージカルの楽曲を活用できるのではないかと考え、教材化を試みたいと思っているが、一方でその難しさも実感している。今回取り上げた*Billy Elliot* は、4年前に66期中学2年生を担当した時にも映画上映を実施した。しかしながら、作品については余り深く触れられず消化不良になってしまったという反省があったので、再度チャレンジすることにした。

CLIL（内容言語統合型学習）という手法が英語教育実践の場で近年普及してきているが、*Billy Elliot* はまさに本校の中学2年生を対象としたCLIL授業の教材となり得る。その理由は映画とミュージカルの鑑賞、Graded Reader版でのReading、内容理解についてのグループ学習と英語プレゼンテーション、学期末テストでのWritingなど、様々な素材（写真1）を用いて、多面的な学習活動が実施可能であるからである。

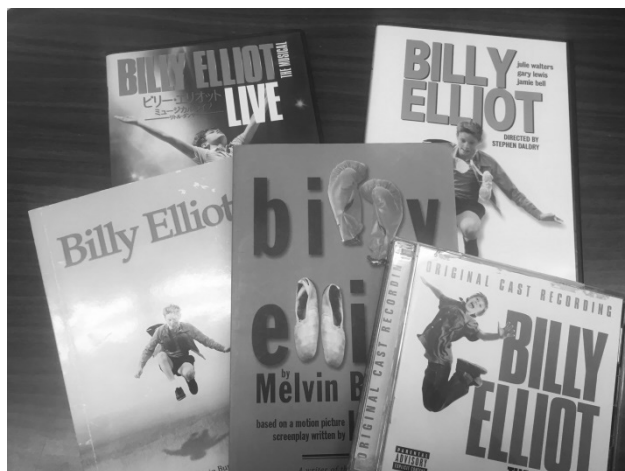


写真1 授業で用いた書籍・DVD など

1.1 作品のあらすじ

舞台はイングランド北部ダラム州の炭鉱町エヴァリントン（実際にはエヴァリントンという町は存在せず映画の撮影はイージンントンというかつての炭鉱町で行なわれた）、1984～85年の炭坑ストライキを背景に物

話は描かれている。主人公の少年 Billy は 12 歳、炭坑夫として働く父の Jackie と兄の Tony、認知症の祖母 Nan と一緒に暮らしている。母は 2 年前に亡くなってしまっていた。炭坑ストの最中の貧しい暮らしぶりではあるが、Jackie は Billy に男らしくあって欲しいと願い、町の公民館でボクシングを習わせている。しかし残念ながら、Billy のボクシングの腕前は居残り練習を命じられる程からつきである。

そんな中、Billy はある日、ボクシング教室の後に公民館で行われていたバレエのレッスンに偶然参加したことを契機に、次第にバレエ教師 Mrs. Wilkinson に才能を見出されていく。厳しい家計の中からボクシングの練習代を工面していた父 Jackie は、Billy がボクシングの練習には行かずバレエに夢中になっていたことを知り激怒する。炭坑ストで常に警察と衝突している兄 Tony も、バレエは女の子の習い事と決めつけている。周りからどんなに強く反対されても Billy はあきらめず、Mrs. Wilkinson と秘密特訓をして、バレエ学校のオーディションに挑戦をする決心をするのだが、その前日に Tony が警察に逮捕されてしまい、Billy はオーディションに行けなかったばかりか、バレエを習う事自体さえも諦めてしまうのだった。

その年のクリスマス、町のクリスマスパーティーの後、公民館で親友の Michael と Billy はふざけ合って躍っていた。Michael はゲイであり女装趣味があるのでチュチュを着て喜んでいる。そんな場面を父に見られてしまうが、Billy はそこで父 Jackie と相対して、自分のバレエへの情熱を踊りで表現する。Billy の才能に気付いた Jackie は、スト破りとして炭坑での仕事を再開するが、すぐに Tony に見つかってしまいスト破りを激しく責められる。だが、Billy の才能を伸ばしてあげたいという父 Jackie の思いがスト仲間たちを動かし、ロンドンでオーディションを受けるための資金をカンパしてもらうことに成功する。ロンドンのロイヤル・バレエ学校のオーディションに無事に合格した Billy は、故郷から旅立って行く。数年後、成長しロイヤル・バレエ団のプリンシパルに昇格した Billy の主演舞台を Jackie と Tony、そして Michael が見に来ている。大勢の観客が見守る中、「白鳥の湖」で主役の白鳥に扮した Billy が宙高く舞い上がる。

1.2 映画から小説、そしてミュージカルへ

映画 *Billy Elliot* はイギリス映画としては異例のヒットとなったそうである。主人公の Billy を演じたジェレミー・ベルにはダンス経験があったそうではある

が、父や兄にバレエを猛反対される中で怒りの感情を大爆発させる *Angry Dance* のシーンや、父の前で自分のバレエへの情熱を表現して踊るシーンの 2 つのダンス・シーンは圧巻である。また、バレエダンサーとして成長し「白鳥の湖」を演じる姿が最後に垣間見られるが、ロイヤル・バレエ団出身のアダム・クーパーの跳躍は見事であるという他にない。

他にも、映画の中ではそれぞれの登場人物たちが生き活きと描かれている。認知症で徘徊癖があるが昔はバレリーナに成りたかった祖母の Nan、武骨な炭坑夫であるが家族への愛に溢れる父親の Jackie、炭坑ストの渦中にあり父や警察との衝突が絶えないが家族思いの兄 Tony、回想シーンに登場するだけで息子の強い愛が感じられる Billy の母 Mom。家族以外にも Billy の才能を見出して彼を支えるバレエ教師 Mrs. Wilkinson、親友だがゲイであり Billy に好意を寄せる Michael、異性として Billy に好意を寄せる Mrs. Wilkinson の娘 Debbie、さらにはストライキ中の炭坑労働者たちやスト破りの炭坑労働者たち、ストを取り締まる警官たちなどの様子が、実際の炭坑町を舞台にリアルに描写されている。

映画を元にノベライズ化された小説とその *Graded Reader* 版では、主な登場人物たちの複数の視点から交互に物語が語られていく。映画での人物像の描写と同様、それぞれの登場人物の立場から、ストライキ真っ只中の炭坑町で、バレエの才能を開花させようと成長していく少年 Billy を中心とした人々の物語を非常に効果的に描写していると思う。

さらに、ミュージカル化に際しても、原作の脚本の台詞とそれに基づくノベライズ版の描写や台詞が効果的に生かされている。特に、楽曲は亡き母からの成長した Billy に宛てた手紙の *The Letter*、オーディション会場で踊っている時の感覚を聞かれた Billy の返答である *Electricity* などをはじめとして、様々な登場人物の視点を交えた素晴らしいミュージカル・ナンバー群で構成されており、映画の世界と並び立つミュージカル作品として完成されていると思う。

2 教材 *Billy Elliot* 選定の理由

なぜ *Billy Elliot* を英語授業の教材に選定するのか。その答えは「中学生の男子生徒達が共感し・感情移入できる作品である」という思いからである。主人公は 12 歳の少年であり、「自分が何者であるかの探究」、「自分が夢中になれることや将来の夢の実現に向けて努力

すること」、「思春期の少年少女の心と体の成長について」、「家族愛や地域の人々との交流について」など、国や時代は違っても深く共感できるテーマが多い。再来年からの道徳の教科化にも、様々な観点で対応できる素材であると思う。

また、作品の世界観を映画・小説（Graded Reader版を含む）・ミュージカルの複数のメディアを通して、多面的・多層的に鑑賞して理解を深めることが可能な作品であるとも言える。2種類の英語学習者向けのGraded Readerに関して言えば、Pearson社版はLevel 3 (1200 headwords)と中学2年生にはやや難し目であるが、それに対してScholastic社版はLevel 1 (600 headwords)と比較的易しく、付属音声CDも何とか入手可能であったので、こちらを中学校1年時から継続している多読の一環として、夏休み読み物課題として採用した。映画のノベライズ版の小説も、恐らく本校の高1以上の生徒であれば読破が可能であろう。将来的に映画のノベライズ版の小説を手にとって読んでみるという生徒もいるであろう。

さらに、作品についての理解をミュージカルの楽曲を通して、特に歌を聞いたり実際に歌ったりする事を通して深めるという事も可能である。そういった観点から言えば、今回70期の実践で取り上げることができたのは、Billyが自らのバレエへの情熱を歌い上げたElectricityの1曲のみだったので、次回以降は複数曲を効率よく紹介して生徒たちに実際に歌わせたい。

最期に挙げられるのが「踊ること」に関する体験についてである。作品中の描写と同様に、男子の習い事としてのバレエやダンス経験者は少ないが、本校では中学2年生1学期の体育の授業でダンスが実施されることになっており、夏休み前には創作ダンス発表会も開催される。体育の授業でダンスの楽しさや難しさに関して、生徒たちが実体験を基に感じる事の出来るからこそ、主人公Billyの「踊ることの楽しさ」という感覚に共感が持て、作品に対する理解も深まるのではないかと思う。

2.1 Billy Elliot 授業実施の手順

今年度の実践では、1学期末の特別時間割期間に映画を観賞し、Scholastic社のGraded Reader版Billy Elliotを夏休みの読み物課題として選定、CDの音源を聞きながら読破することを課題とした。また、ミュージカルの日本語版がまさに上演中であったので、可能であれば家族と一緒に観劇に出かけることを生徒と保護者に推奨した（資料1）。

2学期の授業では英語ミュージカルBilly Elliot The Musicalを鑑賞しElectricityなどの英語の歌の紹介も行なった（資料2）。その後、ネイティブ講師とのTeam Teaching（以下TT）の授業の際に作品に関する分析を実施し（写真2）、①登場人物について（好きな登場人物を述べる）、②作品中のシーンについて（印象に残ったシーンについて述べる）、③作品のテーマについて（作品テーマに関する考察を述べる）の3つについて原稿作成（資料3）を行わせて10月のTT授業内で発表させた（写真3と4）。



写真2 登場人物に関する分析の授業から

その後、Graded Reader版の音読テストを実施し、さらに2学期末最後のTT授業に於いてPerformance Testとして、5~6人班で作品に関する分析①~③に加え、④作品に関連する独自の脚本を作成して演じる、という新分野も設けて再度発表活動を実施した。最期に、その発表原稿の再現を2学期期末考査のWriting問題として実施した。

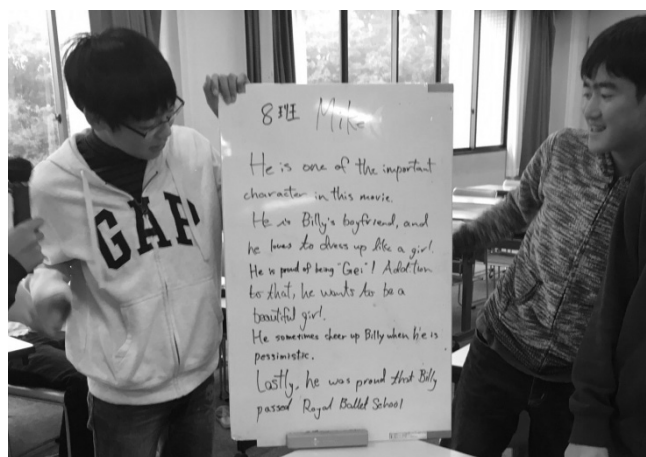


写真3 登場人物について発表する①

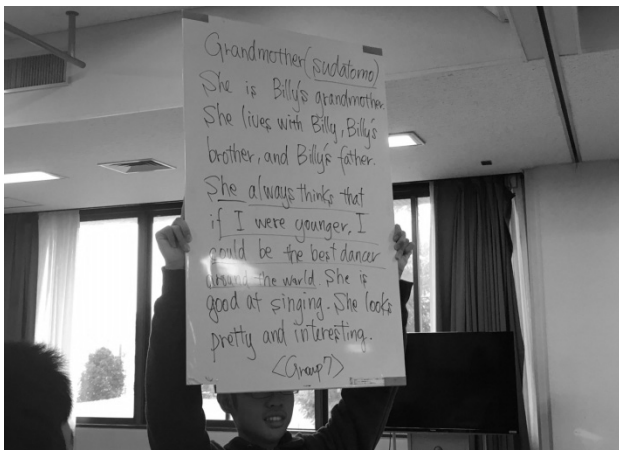


写真 4 登場人物について発表する②

2.2 *Billy Elliot* 授業の振り返り

今回の実践では、班ごとのグループ学習の形で作品の分析を、①好きな登場人物、②印象に残ったシーン、③作品のテーマ、という3つの観点（意識的に易～難を網羅しているつもりである）で行わせ、最後に英語プレゼンテーションの形で発表活動を実施できたことが、作品をより深く理解する上で良かったと思う。

改善点として一番に考えられるのは、実施の期間が長期に渡ってしまったことである。本校の第2期の教育実習期間と重なってしまい2学期すぐに始められなかった点や、映画やミュージカルの映像資料を全て見せるのに時間がかかってしまう点など、今後改善すべき点も多い。また、グループ学習の難度・完成度を上げていくことも大きな課題である。

一方で、映画とミュージカルDVDの鑑賞を通して、物語や作品テーマの理解、登場人物たちへの共感など、普段扱っている教材と比べると、様々なことがより強く感じられたのではないだろうか。作品テーマの Love, Friendship, Following Dreams, Individuality などは、時間をかけて作品を鑑賞することで初めて理解が深められるものであると思う。

3 生徒作品の紹介と考察

生徒たちの作品例を、英作文ノート（Student A）と2学期期末考査の解答（Student B～G）について紹介する。

3.1 生徒の Writing 作品例より

<Student A> Topic 1: Michael

My favorite character is Michael. Michael is a

friend of Billy's. He is fond of wearing women's clothes. He and Billy like each other. In the musical in this story, they danced together with women's clothes. Maybe he supported Billy privately the most. He is considerate and gentle. The scene that he said goodbye to Billy is wonderful. (N.S.)

<Student B> Topic 1: Billy & Topic 4: Original Story

The character I like the best in Billy Elliot is Billy's grandmother because she has a sense of humor. For example, she says that if she were younger, she would be the best dancer in the world. Sometimes, she is very serious. She thinks about her past and cries. She helps Billy from the bottom of her heart. I think she is an interesting person.

After the play, Billy went out from the theater to find Michael. Billy was happy to meet again with Michael. Michael said, "Let's have dinner!" Billy's answer was "Yes." They had dinner together and talked about their childhood. That night became a very special for Billy and Michael. (Y. Y.)

<Student C> Topic 1: Jackie Elliot

Jackie Elliot is Billy's father. He is a diligent miner. He was so good at boxing when he was young, so he wants Billy to learn boxing. When Billy starts doing ballet, he is angry enough to punch Billy.

But he changes his mind. He goes with Billy to the audition and is very happy that Billy passes the Royal Ballet School's entrance exam.

He grows up as a good father with Billy through the story. It is the nice part of this story and made him an attractive person.

He is a very important character in this story. I like him best in this story. (H. Y.)

<Student D> Topic 2: Favorite Scene

My favorite part of the story is where Tony went to the court and argued with Mrs. Wilkinson afterwards. In the story, this is chapter 8.

Though it seems that other parts, such as where Jackie understood Billy, are impressive, I believe this part is the "hidden important part" in the story. I think this part is important for each main

character.

In this part, Billy experiences a series of conflicts between Jackie and Miss. Tony and Jackie show their strong anger towards the police. For example, Tony shouted, "Happy Christmas!" to them. Miss tried to persuade Tony and Jackie, but failed. She must have understood Billy's unpleasant circumstances, but still couldn't give up. This part is rare, as the four main characters all apart at once.

This part is a sort of concluding the first half of the story, by showing the arguments between Tony and Jackie, the police, and Miss. (A.I.)

<Student E> Topic 2: Favorite Scene

The scene I found the most impressive was when Billy got the letter from the ballet school. It said whether Billy passed the audition or not. Billy was very nervous to look inside of it. He went inside his room to check if he had passed. At first, he started to cry when he came out of the room. So, every other family member thought he failed the audition. However, it wasn't true. He was crying just because he was so moved. When he told Tony that he passed, everyone became happy and celebrated Billy. I liked this moment. I can feel the family love from it. I want to know how Mrs. Wilkinson and Michael would react to this. I think Mrs. Wilkinson would cry to know it. Michael would hug Billy because he is gay. (K.A.)

<Student F> Topic 3: Theme of the Story

I think the theme of the story of Billy Elliot is individuality. Billy wanted to do ballet. His father, Jackie didn't allow that because he was a boy. But Billy didn't give up. He said, "I'm not the same as my dad. I can be different." The final song of the musical says, "Everyone is different, it's a natural thing." and "What we need is individuality." That's why I think the theme of the story is individuality. Thank you. (A.N.)

<Student G> Topic 3: Theme of the Story

I would like to explain about Billy Elliot. Billy was born in Evington, a mining town in northern Britain. He became a dancer thanks to the following

three factors.

The first factor is his talent. Billy had a great ability that he could learn to dance well.

The second factor is a good teacher. Even if someone is talented, you need a good teacher to find it and grow it up. Billy was so lucky to come across with Mrs. Wilkinson.

The third factor is the help of family. Even though Jackie is a strict and conservative, he still loves his son and he tries his best to help him become a dancer. Moreover, Billy couldn't have succeeded without the letter from his dead mom, which always inspired him.

In conclusion, I can say that Billy Elliot became a great dancer not only because of his talent but also with the help of many people. (K.I.)

3.2 Writing についての振り返り

英作文ノートや2学期末考査の解答として書かせた原稿は、TT 授業でのグループ学習後に実施した班別の英語プレゼンテーションの内容を推敲させたものであり、事前に準備することが可能な内容であった。しかし、ほとんどの生徒たちが7文以上の分量を解答として短時間のうちに書けたということに関して、手応えがあったと言えると思う。

中でも嬉しかったのは、Individuality (個性) というテーマについて書いてくれたF君の解答である。この言葉は、ミュージカルの中ではExpress YourselfとFinaleの2つのナンバーに繰り返し歌われることから、作品の重要なテーマの一つであることが明らかである。作品中のそれぞれの登場人物が持つ個性、お互いの個性を認め合おうという主張は、これらの楽曲を通して観客に訴えかけられるメッセージとなっている。以下に歌詞の一部分を引用する。

"Everyone is different
It's the natural state
It's the facts, it's plain to see,
The world's grey enough without making it worse
What we need is individuality."

Billy Elliot The Musical: Express Yourself
<https://www.stlyrics.com/lyrics/billyelliottthemusical/finale.htm>

中学2年生の学校生活といえば、まさに生徒たちは自分の個性を育て育む時期である。友人とともに、時にお互いの個性をぶつかり合わせながらも、同じ学校という環境での文化や経験を共有しながら成長を重ねていく。毎日の学校生活が送れるのは家族・友人との交流があつてこそでもある。感謝の気持ちを忘れずに、その中で自分の将来の夢についても漠然とでも良いので時には考えてもらえればと思う。そういった意味からも、生徒たちに **Love, Friendship, Following Dreams, Individuality** などのテーマについて、今回考えさせることができたのは有意義であつたと思う。

4 おわりに

ミュージカル作品は、その使用法によって優れた英語学習の教材となり得ると思う。映画とミュージカルはアメリカが生んだ二大文化であると言われるが、最近でもミュージカル作品の映画化やヒット映画のミュージカル化などに伴って、ミュージカルという芸術・エンターテインメントの価値が再認識されている。ミュージカル作品群は、英語がその主な使用言語であり、それらに親しむことは英語学習者にとって大きなメリットとなるであろう。

日本の英語教育が抱える最大の問題点は、インプットとアウトプットの機会が不足している事である。英語が外国語の一つ(**English as a Foreign Language, EFL**)である日本国内の環境では、日常生活において英語を使用する場面は教室を離れてしまえばほとんど皆無である。この様な**EFL**環境にあつて、ミュージカル作品とその周辺を取り巻くメディアは、良質な教材として英語でのインプットとアウトプット、英語学習の機会を提供してくれていると思う。これからもこの素晴らしい芸術・エンターテインメント様式を用いて、良い英語教材を開発していきたい。

【教材・参考文献など】

(書籍)

1. BURGESS, Melvin (2001) *Billy Elliot The Chicken House*
2. BLOESE, Jacquie(2005) *Billy Elliot Scholastic UK*
3. HOLMES, Karen (2008) *Billy Elliot Pearson Education Limited*

(DVD/CD)

4. DALDLY, Stephen (2005) 『ビリー・エリオット』
角川ヘラルド・ピクチャーズ
5. DALDLY, Stephen (2015) 『ビリー・エリオット
ミュージカルライブ ーリトル・ダンサーー』
NBCユニバーサル・エンターテイメント
6. ELTON, John (2005) *Billy Elliot The Musical
Original Cast Recording Polydor Ltd.*

(参考文献)

7. 井上一馬 (1999)『ブロードウェイ・ミュージカル』
8. 塩田明弘 (2009)『知識ゼロからのミュージカル入門』幻冬舎
9. 和泉伸一 (2016)『フォーカス・オン・フォームと
CLILの英語授業』アルク

July 20th, 2017

70 期 中 2 英語 夏休み課題 (必修 & 自由課題)

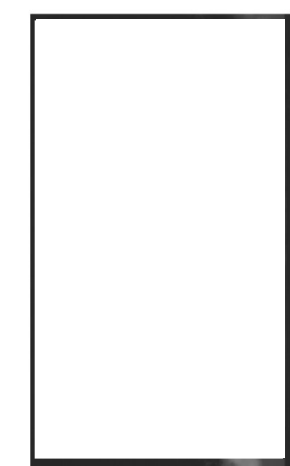
※課題の提出期限は 2 学期に指示します。必修課題③は該当者のみ提出。

※必修課題④と⑤は、それぞれ別のノートに実施のこと

(ルーズリープ使用の場合のみまとめて綴じないが、必ず分かるように分けて実施すること)。

- 1 必修課題① **Billy Elliot Reading & Listening**: 課題図書を読み、巻末の課題を実施する。
※音源 CD を繰り返し聞く・音読練習・書き取ってみる…など、活用方法は様々です。
使用教材 **"Billy Elliot" (SCHOLASTIC, Level 4)** の冊子は先日配布済みです。何冊か教室の床に落ちているのを見かけましたが、冊子をなくして宿題が出来ませんでした」は許されません！持ち物の自己管理を徹底すること。また、再度必要な場合は申し出ること。

★新学期に音読テストを実施。気に入った部分だけで良いので、繰り返し CD を聞く・音読練習を！



7/19 にプレビュー公演初日を観てきました！皆さんより年下の男の子が注目を集める舞台はきっこ物議になると思います。

☆『リトル・ダンサー (Billy Elliot)』…2000 年に BBC フィルムズにより制作公開されたイギリスの映画。1984 年のイギリス北部の鉱山が舞台。一人の少年が当時女性のためのものとされていたバレエに夢中になり地盤を越えてプロのバレエ・ダンサーを目指す過程を描いた作品。本作に基づきエルトン・ジョン作曲のミュージカルも製作され、日本版版がその夏上演されている。

必修課題② 英語多読 (オンライン多読)…先日配布済みの記録冊子を活用する。

Login URL:
<https://siz02.scholasticlearningzone.com/auth/intl/Login/JPNKP52>

Product: BookFlix US

School: Junior and Senior High School at Komaba University of Tsukuba

Username と Password は「2 年 A 組 1 番であれば」・・・**st2a01**

必修課題③ 新中学問題集 7 章～13 章

※ 提出義務がある者は、1 学期末の未提出者十期末テスト 30 点以下の者のみとする。

※ 上記の者は、必要があれば前の部分も復習のこと。ex. 過去形・未来表現など。

※ 問題を解き、自己採点をし提出のこと。
 必修課題④ **Basic Grammar in Use** 「マーフィーのケンブリッジ英文法」
 ・以下の箇所について、左ページの解説をよく読んだ後、ノートに問題を解いて自己採点。
 ※解説ページのまとめをすするなど、自分で勉強方法を工夫すること。

- Unit 32 must
- Unit 33 should
- Unit 34 I have to + 動詞の原形
- Unit 35 Would you like ...? I'd like ...
- Unit 38 there is there are
- Unit 52 work/working go/going do/doing
- Unit 53 I want to do. I enjoy doing.
- Unit 55 I went to the store to + 動詞の原形 (目的を表す不定詞)

※上記の範囲以外にも、特に 1 学期に扱った未来の表現など、復習したい人はどうぞ。

必修課題⑤ **English Journal**…夏休み中の出来事などについて英語で書いてみる (台信、家族旅行、etc.)。

・台信なら台信、旅行なら旅行で、あるテーマについてまとめて書いてみると良い。

2

自由課題：(2 学期に Bonus 加点対象)

Songs, Movies & DVDs, etc.…歌詞や英語のセリフなどについてまとめてみよう！

※ 映画館に足を運び、もしくはレンタルするなどして洋画を見よう！

※ 引き続き、ミュージカル (ミュージカル映画) に関するレポートを募集！

Mr. Suda's Recommendations:

<Billy Elliot> <バックシー・リッジ> <スライダーマン ホームカミング>

3 (自由課題・・・塾などに行っていない人向け)

基礎英語 2 など (簡単なと思う人は、自分のレベルに合わせて他の講座を聞こう。)

8 月号には付属の問題集・テキストをつけているはず！

Enjoy your Summer Vacation and See You in September!

(資料2)

中2英語 #30 TT with Sadia Fall Term #5&6

October 18th, 2017

Electricity (Music by Elton John, Lyrics by Lee Hall)

[以下、公開データでは省略]

中2英語 #36 TT with Sadia Fall Term #9 Billy Elliot

November 15th, 2017

11/15: 音読テスト...本日 11/22: 班別 Presentation 1/18 11/29: 本番!

1.2. Which character(s) in the story/movie/musical do you like the best?
What do you remember about him/her?

①

Dotted lines for writing the answer to question 1.2.

2.1. Which scene(s) were the most impressive in the story/movie/musical?
Give 3 examples.

②

Dotted lines for writing the answer to question 2.1.

3. What do you think are the themes of this story/movie/musical?

③

Dotted lines for writing the answer to question 3.

4. [NEW] Creating your own scene/story related to the story/movie/musical.

④

Dotted lines for writing the answer to question 4.

12- No. Name